

Y-SDGs 取組紹介シート

Y-SDGs

— supreme —



【supreme】
第9版（2023年9月28日更新）

掲載企業一覧

向洋電機土木株式会社
石井造園株式会社
株式会社大川印刷
大和ハウス工業株式会社
株式会社太陽住建
大成建設株式会社
東電同窓電気株式会社
三井住友信託銀行 横浜駅西口支店
東急建設株式会社
戸田建設株式会社
横浜ロイヤルパークホテル
メタウォーター株式会社
積水ハウス株式会社
西松建設株式会社
株式会社安藤・間
太陽油脂株式会社
公益財団法人横浜市緑の協会
横浜ベイシエラトン ホテル&タワーズ

株式会社奥村組
東亜建設工業株式会社横浜支店
株式会社三笠
株式会社センチュリー工業
三井住友建設株式会社
清水建設株式会社
株式会社不動テトラ
東急不動産株式会社



働きやすい・働きがいのある職場づくり 地域社会と連携し豊かな明るい未来を共創する

本業である【電気設備工事】は、社会的インフラの担い手として、非常に重要な責務であると共に、企業にプラスαの価値を求められています。弊社ではSDGsの取組として、ワークライフバランス、女性活躍推進、健康経営、環境経営、地域貢献、テレワーク推進など様々な取組みをしています。これらは、社会的ニーズとシーズ両方兼ね備えた企業こそが次世代に向けて今後果たすべき役割であると確信しております。それは弊社の掲げるCS(顧客満足)、ES(従業員満足)、FS(家族満足)、PS(個人満足)の【4S】を満たした活動だけでなく、2030年のSDGsの目標を達成するために、更にもう一つ、Area Satisfaction(地域満足)を掲げて、達成すべく活動を進めております。お互いのリソース交換や提供を駆使し、地域の発展と活性化で未来を共創していきましょう。



向洋電機土木株式会社
代表取締役 倉澤 俊郎さん

SDGs はまず出来る事からスモールスタートでチャレンジすることがSDGs達成の第一歩です。他の会社がどんなことをしているのだろうか？と調べる事も第一歩となりますので色々調べてみましょう!!

担当者：
CHO 広報部部长
横澤 昌典

こんなSDGsに取り組んでいます！



【経済成長】～社員と関連する人々と組織の成長を



- ・ベテランから若手へ、双方向的なコミュニケーションを取りながら技術を継承。様々な講習会を自社で開催し参加する全ての人と組織の成長を進めています。
- ・様々な取組を推進し行う事により、地元と共に成長発展できる情報共有はもちろん、ノウハウ提供などを積極的に行い地元経済の活性化と連携強化を進めています。

【環境保護】～地球の未来と未来の担い手たちの為に



- ・環境経営に10年以上前から取組み、廃棄物の分別削減に特に力を入れています。また近隣保育園と連携し植樹体験やグリーンカーテン導入などの花育活動を行っております。
- ・予防接種、抗原検査、PCR検査等を毎月自社で開催し、社員と社員の家族は勿論、近隣会社等などについても門戸を開き地域住民の安心で安全な環境構築を進めています。



【社会的包摂】～誰も取り残されない社会の実現を



- ・子育て・介護・闘病・教育などその人のライフステージにおいて様々な状況の人に対して、あらゆる角度からサポートできる会社として成長できるように研鑽と取組を進めています。
- ・特にICT技術を駆使したテレワーク等については技術や知識を公開しており、様々な状況に対応できるように実践し制度設計した物で将来起こりうるライフイベントに備えられようとしています。

今後チャレンジしていきたいこと

弊社社員がSDGs公認ファシリテーターですので、これからもSDGsカードゲームを通じて老若男女問わず、SDGsの普及推進に取り組んでまいります。



向洋電機土木株式会社
住所：横浜市中区
井土ヶ谷下町16-6
TEL：045-743-4411
<http://www.kouyo-dd.jp>





未来に伝える みどりを通じたコミュニティづくり その中心にあつて 地域の活性化に力を尽くします

平成21年に横浜市が開港150周年を迎えるにあたり環境創造局で企画された150万本植樹行動の企画に賛同し、弊社も推し進めてきました。横浜市の活動は平成22年3月までで150万本を達成され、その中で弊社は1550本を担うことができました。その後「みどりアップやってます」に行動は推移していくわけですが、弊社もこの活動に賛同する形で、受注した公共工事の現場やイベントなど様々な場所で、苗木を配布させていただき、現在7,700本まで積み重ねることができました。2030年までに目標は大きく3万本ですが、「ついでに無理なく 達成感のある」の方針で、社員とアイデアを出しながら取り組んでいきます。



石井造園株式会社
代表取締役
石井直樹さん



通常は業務で公共工事から個人邸庭園管理等をしながら、「ついでに 無理なく 達成感のある」の方針のもとSDGs担当者として取り組みの企画、推進に携わっています。

SDGs bizサポート補助金事業「ナラ枯れを探そう」プロジェクトチームの一員としてイベントを行いました。参加された皆さんの質問にもしっかり答えられるよう、自分たちも勉強や気づきの場として刺激になります。



担当者：
造園部
川口幸治さん

こんなSDGsに取り組んでいます！



地域お客様の逸品をお届けする“カサマルシェ”

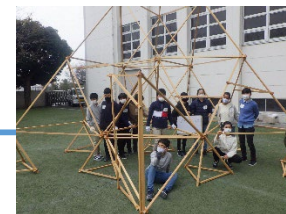
会社敷地、社屋を利用して、春と秋年2回開催するカサマルシェ約600名のご来場をいただいております。中には開店10分で売り切れる人気商品も。



協働による楽しいコミュニケーションが 生まれる仕掛け 空間ワークショップ



JIA（日本建築家協会）の支援企業として、子供たちに向けた空間ワークショップのファシリテーター等お手伝いしています。



みどりを通じて地域を活性化「緑化基金」



・社員の発案で生まれた独自のシステム「緑化基金」街の小さな緑化活動を支援します。今までに63団体に授与、中には「紫陽花の会」など名所になるほどの継続活動もあります。



今後チャレンジしていきたいこと

新たなコミュニティ活性化へのチャレンジ

金沢区にあしたタウンプロジェクトに参画、並木ラボに観葉植物ショップ「グリーンシンフォニー」を開店し、ここを拠点として周辺の緑化活動などを通じてコミュニティの一員として活性化を図ってまいります。



石井造園株式会社

住所：横浜市栄区笠間
4-11-5

TEL：045-891-1501

URL：

<http://www.ishii-zouen.co.jp>





脱炭素社会実現に向けて—「風と太陽で刷る印刷」 本業を通じて、社会課題を解決する。

2004年、当社は自社の存在意義を「ソーシャルブリッキングカンパニー®（社会的印刷会社）」と位置づけ、本業を通じて社会的課題を解決することを全社で推進してきました。環境を考えるきっかけは、受講した経営者向けのセミナーです。講師に「あなたの会社がなくなって困る人はいますか？」と聞かれました。私は正直、社員以外にはないかもしれないと思ったのです。そこで「あなたの会社でなければ駄目、と言われるような、地域や社会に必要とされる企業を目指そう」と考えました。企業規模にかかわらず、脱炭素経営に取り組むのは当たり前だと考えています。人も企業も社会も地球も全てつながっています。どこかで課題やひずみがあれば全てに影響を与えるのです。だから、経営者として企業の持続可能性を求めるなら、地球の持続可能性が前提となるはず。



株式会社大川印刷
代表取締役社長
大川 哲郎

私は普段、品質保証部として印刷の品質管理の仕事に従事しながら、当社の活動に興味を持っていただき来社下さったお客様や地域の方々、学生さんなどに、環境印刷の取り組みやSDGsの活動について、主に工場見学を通してご案内しています。活動をするなかで、「一期一会」のご縁のありがたさ、大切さをかみしめる日々です。説明に熱が入ってしまい、時間を超過してしまうこともしばしばですが、とてもやりがいを感じています。当社の工場見学は各部門の担当者が自分の言葉で部門について語る姿の格好良さも見どころです！



担当者：
品質保証部
草間 綾

こんなSDGsに取り組んでいます！



再生可能エネルギー100%で印刷しています



本社・工場で使う電力は太陽光パネルによる自家発電で約20%まかない、残り80%は青森県の風力発電を購入し、2019年より100%再生可能エネルギー印刷会社となりました。

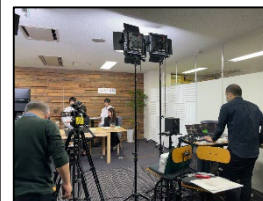


「環境印刷」を推進

・「環境印刷で刷ろうぜ！」をスローガンに、印刷用のインキは石油系溶剤を含まない植物性インキを99.9%使用、FSC®森林認証紙の使用も推進し、全体の使用率は91%（2022年9月現在）となっています。環境印刷はクリーンな環境で印刷が実現しており、印刷に従事する従業員にとっても恩恵があります。



社会課題解決型スタジオ「with GREEN PRINTING」始動



・2022年4月より社会課題型スタジオ「with GREEN PRINTING」をスタート。スタジオの電力はすべてカーボンオフセット。情報があふれる現代社会の中で、正しい情報の収集・発信ができるスタジオとして、社会課題解決について真剣に考える人と企業が出会うことができるイベントスペースです。

株式会社大川印刷

住所：横浜市戸塚区
上矢部町2053
TEL：045-812-1131
URL：<https://www.okkawa-inc.co.jp/>





「儲かるからではなく、世の中の役に立つからやる」

創業者の想いを受け継いだ私たちの活動は持続可能な世界を目指すSDGsへとつながっている。

創業者 石橋信夫が常に社員に語っていた「儲かるからではなく、世の中の役に立つからやる」という言葉は、大和ハウスグループが事業を興すうえでの基本となる考えです。戦後のベビーブームに生まれた自分の部屋が持てない子どもたちのために、「安くて、安全で、独立した勉強部屋ができないか」という発想から誕生した『ミゼットハウス』は、パネル工法の技術を活かし、わずか3時間でできあがる勉強部屋として販売しました。これが日本での一戸建てプレハブ住宅の原点となります。

このように、当社は、常に社会課題と向き合い、社会に貢献する事業（商品・サービスの開発・提供）を通じて成長を果たしてきました。

その精神は、大和ハウスグループの基本姿勢である「共に創る。共に生きる。」に受け継がれ、私たちの道標となっています。SDGsの貢献はこれらの考えを具体化したものであり、これまででも、そしてこれからもこの考えに基づいてサステナブルな社会の実現に向けて行動していきます。

創業者 石橋信夫



「魅力ある街へ」私たちが目指すSDGsへの取り組み



再耕 さいこう

当社の造語。「戦後の高度成長期、土地を切り拓き、街をつくり、暮らしを育んできた私たち。時代が大きく変わろうとしているいま、もう一度街を耕し、お客様の暮らしを耕し、この国の新しい未来を耕す。」という想いが込められています。全国61カ所にある当社が開発した郊外型戸建住宅団地『ネオポリス』の再耕をSDGsの理念に基づいて進めています。

こんなSDGsに取り組んでいます！

住民主体の持続可能なまちづくり

「上郷ネオポリス」



- ・横浜市栄区にある高齢化率50%を超える郊外型戸建住宅団地「上郷ネオポリス」において、住民の方と一緒にまちづくりに取り組んでいます。
- ・住民の方々と継続的に意見交換会を開催し、買い物や交通などの課題が浮き彫りになりました。また、住民の方々のニーズもヒアリングしました。
- ・地域内イベントを企画し、住民の方々と共に開催することで街の活性化を推進しています。

みんなの居場所・新たな活躍の場 コミュニティ拠点「野七里テラス」



- ・2019年10月、住民の方々が切望されていた誰もが立ち寄れるコミュニティ拠点「野七里テラス」をコンビニ併設型としてオープン。
- ・コンビニ従業員はすべて住民の方々、施設全体の管理運営も住民主体のボランティアの方々に担っていただいています。
- ・子どもからお年寄りまで多世代が集うコミュニティが創出されました。



民産学官協働でまちづくりに取り組んでいます



- ・2020年1月、横浜市とまちづくり協定を締結、更に各大学とも連携をとらせていただき、住民を主体としたパートナーシップを組成しています。

今後チャレンジ していきたいこと

産官学民が連携を図り、持続可能なまちが実現できる【タウンマネジメントモデル】を構築していきます



ご自宅とまちの「身体的×精神的」安全を守り、 災害に強いまちづくりに取り組む建設会社です！

2009年の設立時から、本業である太陽光発電事業とリフォーム事業を通じた地域貢献に取り組んできました。2019年には取り組みが評価されて横浜型地域貢献企業プレミアム認定をいただきました。また同年、NYで開催された国連ハイレベル政治フォーラム（HLPF）2019において、中小企業代表としてSDGsレポートを発表する機会を頂戴しました。この発表を機会に2030年まで、毎年SDGsレポートを発行しています。（レポートはHPからご覧いただけます。）

その後、地域の方からの相談や災害時の過酷な生活環境を受け、建設会社である私たちができる「身体的×精神的」安全を守り、災害に強いまちづくりを目指した事業を展開しています。

そしてまちの「身体的×精神的」安全を目指した体験型空き家活用「solar crew」の取り組みは、第8回グッドライフアワード[地域コミュニティ部門]で環境大臣賞を受賞したことをきっかけに、テレビ、ラジオ、新聞など、多数メディアに掲載され、拠点の展開及び活動を拡大しています。



株式会社太陽住建
代表取締役 河原 勇輝 さん

私は入社した当初より、会社のサポートを得ながら、スポーツジムとのWワークを両立させてきました。そして今は通勤が難しい距離なので、2歳の子供をお世話しながら在宅で仕事を継続しています。働き方に対し、柔軟に対応してくれるため、在宅業務ながら働きがいを感じています。

主にHPやSNSの更新、資料作りなどを行っています。イベントに参加することがSDGsや社会課題の解決につながっている「solar crew」については、イベントの日程調整や告知などを行っています。crewの方が参加したくなるようなイベントを企画していきますので、是非ご参加ください！皆様からのアイデアも募集しています(^^)

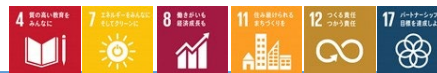


担当者：
社長室
秋山 美奈子さん

こんなSDGsに取り組んでいます！



solar crew



体験型空き家活用「solar crew」は、地域の困りごとになりがちな空き家を、防災機能を備えた地域コミュニティの場に活用します。「つくる体験」「つかう体験」「解決する体験」、これらの体験を通し、SDGsゴール11「住み続けられるまちづくり」を目指しています。

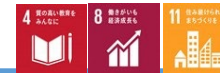


おひさまおすそ分けプロジェクト

災害時に発電した電気を近所の方へ「おすそ分け」するプロジェクトです。「災害に強いまちづくり」と同時に、災害時に重要となる「コミュニティ形成」を図ります。同業8社が協業し、取り組んでおり、現在の登録数は横浜市内で50ヶ所以上あります。



学びサポート、働き方サポート



小学生～大学生を中心に、SDGsやゴミなどの環境問題に関する授業を行っています。また事業を細分化し、子育て中のママさんや障がい者の方々に働く機会を提供しています。

crewを募集しています！

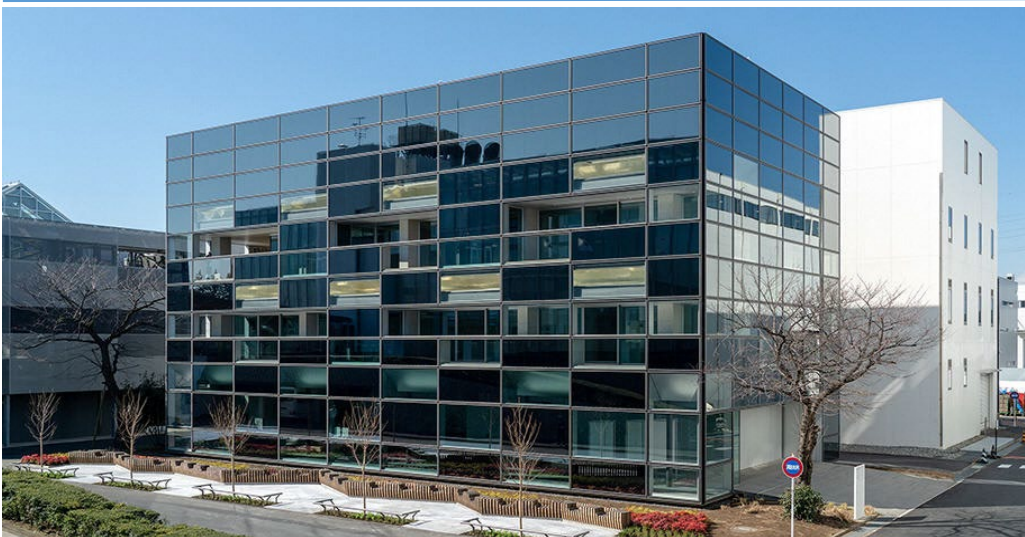
solar crewへのメンバー登録（無料）はFacebookのグループに参加するだけOK！こんな方にオススメです！

- ◆DIYに興味がある方
- ◆crew同士で情報交換がしたい方
- ◆まちづくりに携わってみたい方
- ◆スキルを活かしたい、学びたい方 など



株式会社太陽住建
住所：横浜市磯子区中原4-1-30
TEL：045-325-7133
<https://www.taiyojuken.jp/>





人がいきいきとする環境を創造する

【TAISEI VISION 2030】
進化し続けるThe CDE³ (キューブ) カンパニー

Construction, Development, Engineering, Energy, Environment

人々が豊かで文化的に暮らせるレジリエントな社会づくりに貢献する先駆的な企業グループを目指してまいります。

1873年の創業以来、大成建設は、日本の近代化や戦後の復興、経済成長、グローバル化といった社会の変化とともに、数多くのプロジェクトを手掛けてまいりました。

また、安全・安心で、魅力ある街づくりや社会資本の整備に携わり、大規模な自然災害からの復旧・復興、さらに国土強靱化にも貢献することで、建設業としての社会的責任を果たしてまいりました。

これからも、グループ理念「人がいきいきとする環境を創造する」を追求し、自然と調和した、次世代の夢と希望に溢れた社会づくりに取り組んでまいります。



大成建設株式会社
代表取締役社長
相川 善郎

「脱炭素」「女性の活躍推進」「健康経営」に取り組んでいます

横浜市との連携による脱炭素への取り組み



2010年からYSCPに参画し、横浜市のスマートシティ構想のもと、次世代型エネルギーに関する実証実験を大成建設技術センターで行いました。また、「横浜スマートビジネス協議会」(YSBA)の幹事会社として、横浜市のスマートシティ発展に貢献しています。

(左図) 横浜市戸塚区の当社技術センター
都心の狭小なエリアでもZEBを実現する「都市型ZEB」として建物単体で年間エネルギー収支ゼロを実現。**WELL認証※取得** ※米国・健康建築性能評価制度

女性社員が様々な分野でいきいきと活躍できる環境を整えています



2019年度、けんせつ小町活躍推進表彰の最優秀賞と特別賞を受賞した作業所の女性活躍における改善事例を、他の建設作業所へと水平展開しています。

女性社員の職域を広げるため、採用や育成に積極的に取り組んでおり、女性技術者数は780名、女性管理職社員数は277名となりました。(2021年7月現在)



人事部
人材いきいき推進室
鶴巻 道子さん

作業所で働く所員・作業員の心身の健康「ウェルネス」向上を推進



・特定作業所においては、100に及ぶ「ウェルネスレシピ」を用意し、作業所長がその環境に応じて選択できるように考えています。
社員だけでなく、**作業所で働く専門工事業者の方との交流促進**も図っていきます。
・「よこはまウェルネスパートナーズ」(実践、及び支援パートナー)に登録しています。



横浜支店
木根田 好さん



今後チャレンジしていきたいこと

市民が生き生きとする未来の街づくりを実現します
「水際」と「まちなか」を「横浜パークライン」として、**花と緑と光**でつなぎ、市民にとって**居心地の良い新たなパブリックスペース**を創造します。
地域の一員として、**世界最先端のウォークアブルなSDGs まちづくり**に取り組めます。



営業総本部
手塚 千尋さん

大成建設株式会社

住所：東京都新宿区西新宿
1-25-1新宿センタービル
TEL：03-3348-1111

URL：

<https://www.taisei.co.jp/>



『エネルギーに関わる取り組みを中心に 環境・社会と共存しながら成長する企業へ』

当社は、電力ネットワークの保守・保全を中核に、内線、通信、情報システムの設計・施工・保守管理など、電気に関わるあらゆる分野を手掛けています。創業以来70年以上にわたり、SDGsの一つ「エネルギーをみんなに」の一端を、微力ながら担ってきました。近年、自然災害が頻発化・激甚化しており、災害時の電力設備復旧に駆けつけることも多い私たちは、「気候変動への具体的な対策」の必要性を痛感しています。

再エネの利用や徹底した省エネを自社で導入・実践することはもちろん、取引先へも積極的に提案していますが、さらに取り組みを強化・加速していかなければならないと感じています。

17ゴール169ターゲット全てにリーチすることは難しいかもしれませんが、健康経営、ダイバーシティ、多様な働き方促進など着手済みのテーマに着実に取り組みつつ、新たな課題にもチャレンジし「環境・社会」と共存しながら成長する企業を目指していきます。



東電同窓電気 株式会社
代表取締役 浅水 一成

こんなSDGsに取り組んでいます！

電気の見える化は、限られたエネルギーを無駄なく使うために必須です。マルチメーターロガーを使い、5～60分毎の電圧や電流、積算電力、力率等を正確に記録します。施工前後の比較で省エネ効果を確認し、次のアイデアを生みだします。お客さまからのニーズをヒントに、机上での試験とデータ解析から培った技術は、常に進化し次の提案に反映されていきます。



マルチメーター SDメモリ式

子供たちに「安全ポスター」を書いてもらい、安全意識の高揚



夏休みを利用して、社員及び協力会社社員の子供たちに「安全ポスター」を書いてもらっています。社員の安全作業に対するモチベーションアップや親子のコミュニケーション増加を目的としており、安全ポスターは、本社ロビーやイントラに掲示され、年齢ゾーンごとに投票し、表彰しています。



本社ロビーの安全ポスター掲示

地元の高校生に会社見学や課外授業で技術の継承



地元の高校からの依頼で、会社見学として電力設備工事、電気設備工事、省エネ対策などの講義を開催しています。高所作業車のバケット乗車体験等を随時行い、地域貢献しています。



営業所で電力技術や省エネ研修



高所作業車バケット乗車体験

会社周辺の清掃作業



定期的に会社周辺の清掃活動をしています



今後チャレンジしていきたいこと

SDGs企業として社会に貢献できることを幅広く考え提案していきます！

東電同窓電気株式会社

住所：横浜市西区桜木町7丁目40番3号

TEL：045-324-3211

URL：<https://www.doso.co.jp>



この眼鏡はライオンズクラブのリサイクルセンターに送付、その後使用可能、不可能品に分類され、使用可能分は発展途上国へ。使用不可能分は金属部分の再利用や廃品処理支援をしています。



支店内にプロジェクトチームを作り活動しています。
信託銀行ならではの発想と行動力を遺憾なく発揮してまいります！
眼鏡の寄付は当店の大事なプロジェクトの一つです！

当店で、応接室で使用するトレーを海洋プラスチックと建築廃材や間伐材を融合させた、バイオマスプラスチックを50%使用した製品を使用していく事にしました。三井トラスト・グループでは世界的な海洋汚染問題への具体的なアクションとして「2030年までにリサイクルされずに廃棄されるプラごみゼロ」を目指す「三井トラスト・グループ プラごみゼロ宣言」を策定しています。



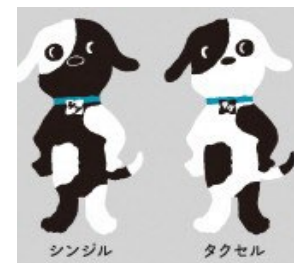
僕たちも一緒に頑張るワン！



バイオマスプラスチックを50%使用したトレー

資産のことで悩む人を見つけることが得意なふたごの名犬コンビ。黒が多いのがシンジル、白が多いのがタクセルです。ことばはしゃべれないけど、人の気持ちはよくわかる、かしくてやさしい二匹。支店でのおびー展や、講演会、ブログを通じて自ら学び、また様々な方々にSDGsを知ってもらうための活動をしています。

<https://branchblog.smtb.jp/kanto/except-tokyo/yokohama/>



こんなSDGsに取り組んでいます！



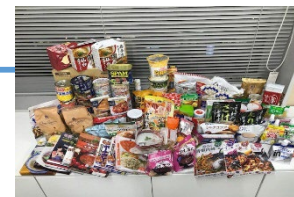
“生理の貧困問題”を直視！！

- ・神奈川県と協力し大学に生理用品を設置させていただきました。
- ・世代を問わず周知してもらうために店内にパネル展を開催し、各メディアに取り上げていただきました。
- ・店内でもお客様からのご理解を多くいただきました。



フードドライブの実践からフードバンクへ！

- ・当店の社員間で10日間で39キロもの食料を集めました。
- ・かながわフードバンクへ実際に持参いたしました。



当店独自の取組紹介冊子を作製！

- ・LGBTQに関する基礎知識、多様性に関する相談窓口や交流について。
- ・三井住友トラスト・ホールディングスの取組について。
- ・サステナビリティ活動のご紹介。



今後チャレンジしていきたいこと

フードドライブは続けなければならないチャレンジ項目で、継続していきます。眼鏡の寄付活動を行ってまいります。SDGsの目標達成に向けた取組を行ってまいります。

三井住友信託銀行株式会社
横浜駅西口支店
住所：横浜市西区南幸1-6-31
TEL：045-312-3131

URL：
<https://branchblog.smtb.jp/kanto/except-tokyo/yokohama/>





渋谷駅周辺再開発事業

VISION2030
0へ挑み、0から挑み、
環境と感動を
未来へ建て続ける。

次世代に向けた
サステナブルな社会の実現に挑戦

一貫して社会課題の解決に取り組んできた東急建設が
現在最も注力すべきは環境問題です。

「暗闇の中、真っ先に松明を掲げて駆けだす」という
創業以来の挑戦する風土を持ち続け、
感動を提供する会社として持続可能な未来に
貢献してまいります。

東急建設株式会社
代表取締役社長 寺田 光宏

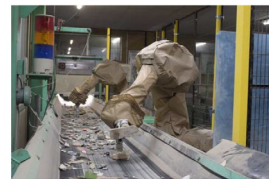


SDGsを起点とした社会課題の解決に向け、『脱炭素』『廃棄物ゼロ』『防災・減災』を3つの提供価値として戦略の根幹としています。



廃棄物選別ロボットの開発

建設副産物の中間処理プラントにおいて、建設廃棄物の自動選別を行う『廃棄物選別ロボット』を開発しています。中間処理プラントでは、ベルトコンベアを流れる廃棄物を人の手で選別することが一般的ですが、当社ではAIの深層学習による画像解析技術を用いることで、選別作業の自動化を目指しています。



今後チャレンジしていきたいこと

当社は、環境省の実証補助事業で採択された、デンヨー(株)開発の『水素燃料電池発電機』を実際の建設現場で使用し実証を行いました。今後CO₂フリーの水素社会実現に向けて様々な技術革新に関わっていきます。



東急建設株式会社
住所：東京都渋谷区
渋谷1-16-14
TEL：03-5466-5077
URL：
<https://www.tokyu-cnst.co.jp/>





「喜び」を実現する企業グループ
価値のゲートキーパーとして、協創社会の実現を目指します。

撮影
西山芳一

未来ビジョン CX150 (Corporate Transformation toward TODA Group 150th)

1881年の創業以来、当社が提供してきた建物やインフラは、何十年にもわたり、その地域で暮らす人々の生活を支え、社会に貢献してまいりました。

戸田建設グループグローバルビジョン「喜び」を実現する企業グループには、お客さま、社員、協力会社、ひいては社会全体の「喜び」をつくり出し、それを自信と誇りに変えて成長を続けていく企業でありたい、という想いが込められています。

今まさに社会のあり方や人々の価値観が変化し、企業に求められる役割も変わろうとしています。当社グループは「未来ビジョン CX150」を策定し、社会の課題解決のために、これまでにない新たな価値を創造する「価値のゲートキーパー」として、協創社会の実現を目指して歩みを進めていきます。



戸田建設株式会社
代表取締役社長
大谷 清介

こんなSDGsに取り組んでいます！

環境負荷の少ない代替燃料を採用！



・建設重機の稼働に伴うCO₂排出量削減の取組みとして、環境負荷の少ない天然ガス由来燃料（GTL）を積極的に採用しています。その他、燃費が向上する添加剤（K-S1）やバイオディーゼル燃料を活用し、2020年度は約430t CO₂を削減しました。



現在、環境負荷の少ない代替燃料やRE100を作業所に提案しています。作業所以外にも協力会社向けの説明会を開催し、工事現場一体となってCO₂排出量削減に取り組んでいます。



横浜支店
建築環境・品質管理部
鈴木 勇人



地域コミュニケーションを生み出す仕掛け

・瀬谷区の再開発現場の仮囲いを活用し、横浜市出身のアーティストと小学生560名が製作した手形アートを掲出しました。

また、仮囲いに設置したデジタルサイネージに消防団員募集の動画を配信する等、今や仮囲いは現場と地域の方々をつなぐコミュニケーションツールになっています。



キーワードは「ハマロードサポーター」



・地域貢献活動の1つとして横浜西土木事務所と協働して身近な道路の美化を行う道路の里親制度に参加し、週に1度みなとみらい4丁目の周辺清掃活動を行っています。

今後チャレンジしていきたいこと

当社は、総合建設業の強みを活かし、浮体式洋上風力発電事業に取り組んでいます。今後はさらにウィンドファームの建設および運営に注力し、グリーン電力の地域供給を目指します。

戸田建設株式会社横浜支店

住所：横浜市西区みなとみらい4-4-2

TEL：045-228-8207

URL：<https://www.toda.co.jp/csr/sdgs/>





宿泊・レストラン・宴会・ウェディング等、様々な場面に有するホテル。
その全てにおいて“人と環境にやさしいサービス”の展開を目指します！

「社員577名対象に実施したアンケートにおいて86%の方がSDGsについて優先的に取り組むべきとの回答でありました。これは開業から省エネやロスの削減など様々な取り組みを実施してきたからこそ皆の関心も高いのだと感じております。まだまだできることはたくさんあるはずと思っています。」

横浜ロイヤルパークホテルでは、2021年に総支配人を委員長とする「SDGs委員会」を発足。メンバー内での活発な意見交換により、様々な商品やプランの企画立案を行うなど、SDGsへの取り組み強化するとともに、社員の意識向上を目指してまいります。



常務執行役員
横浜ロイヤルパークホテル
総支配人 雄城 隆史さん

ホテルのバックスペースでもペーパーレス化の推進、省エネ機器導入、電球LED化、空調電源のオンオフを自動化、生ごみ処理をエネルギーに変換する技術を持った企業に委託するなど様々な取り組みを行っております！



担当者：コンシェルジュ 稲葉 たえ子さん

こんなSDGsに取り組んでいます！



食品やロスフラワーの削減

- 消費期限が近いなどの理由で本来は破棄されるホテルメイドのブレッドを、クラブラウンジの朝食時に無償で提供。
- 環境省が推奨する3010運動に賛同し、幹事の皆様へご案内。
- 装飾用に仕入れた花々で実際に使用できなかったものを中心に、ブーケにして販売



環境に配慮した客室

- 一部の客室では、プラスチックの使用量を40%削減したエコアメニティや100%リサイクルの再生ペットボトルを使用したミネラルウォーターを導入。
- 2022年に行った客室改装では、1993年開業当初から使用していた上質な家具を廃棄することなく、修理をして再利用。不要となった羽毛布団を「グリーントウンプロジェクト」へ提供するなど、廃棄を減らす取り組みを実施。



地産地消の取り組み推進

- 積極的に神奈川県産の食材を取り入れ、レストランや宴会で提供。生産者の方との繋がりを大切に、地域活性化を目指す。



今後チャレンジしていきたいこと

女性の活躍推進として、女性社員が様々な分野で活躍し、キャリアアップできるよう制度を整えてまいります。

株式会社ロイヤルパークホテルズアンドリゾーツ
横浜ロイヤルパークホテル
住所：横浜市西区みなとみらい2-2-1-3
TEL：045-221-1111
URL：https://www.yrph.com





横浜市水道局 川井浄水場（セラロッカ）

当社を筆頭株主とする特別目的会社「ウォーターネクスト横浜株式会社」が、浄水場施設全体の更新と運営・管理をPFI※方式で実施しています。

水・環境の課題解決を通じて、持続可能な環境・社会の実現に貢献し続けます

当社グループは、2008年4月の設立以来、国内2,000カ所以上の上下水道施設への電気・機械設備の納入に関わっており、サービスの対象となる人口は約6,000万人にのびます。

近年、日本の上下水道における事業環境においては、設備の老朽化に加え、気候変動による自然災害への対応などが急務です。

水・環境インフラを支える当社グループにとって、事業そのものが環境・社会への貢献であり、SDGs達成への取り組みであると言っても過言ではありません。

皆さまから信頼され、さまざまな社会課題解決の一翼を担っていかなくてはならないと強く感じています。



メタウォーター株式会社
代表取締役社長
山口 賢二

※PFI：施設的设计、建設、維持管理、修繕などの業務について民間事業者の資金とノウハウを活用して包括的に実施する手法

横浜市ではこんなSDGsに取り組んでいます！



セラミック膜ろ過システム

持続可能な水・環境インフラを目指して
～横浜市川井浄水場（セラロッカ）～



- ・長寿命・高強度のセラミック膜で安全・安心な水道水を造水
- ・水源と浄水場の高低差エネルギーを最大限活用した省エネ設備
- ・施設屋上での太陽光発電を活用してCO₂を大幅削減
- ・水処理の副産物(汚泥)を、建築材料などへ100%リサイクル



水の循環を支える水源林の保全
～横浜市水道局「W-eco・p」への参画～



- ・水・環境インフラに携わる企業として、水源林保全活動を全国で展開
- ・横浜市川井浄水場の水源である山梨県道志村との協定地を「メタウォーターどうしの森」と名付けて保全活動を実施

※横浜市水道局 水源エコプロジェクト W-eco・p (ウィコップ)
<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/suido-gesui/suido/torikumi/suigen/wecop.html>



横浜市立
桂台学童ちびっこの家

次世代を担う子どもたちに
～水の大切さを学ぶ「出前授業」の実施～



- ・普段飲んでいる水道水や水の循環を学習してもらう取り組み
- ・ペットボトルでろ過器を自作し、泥水をろ過する実験などを体験



横浜市立嶋山小学校



横浜市立梅林小学校



横浜市立本宿小学校

その他さまざまな取り組みを進めています

詳しくは、当社HP
「持続可能な社会へ SDGs達成への取り組み」
<https://www.metawater.co.jp/sustainability/sustainable/>
「メタウォーターレポート」
<https://www.metawater.co.jp/ir/library/library04.html>
をご覧ください。

メタウォーター株式会社
横浜営業所

住所：神奈川県横浜市西区
北幸二丁目8番4号
横浜西口KNビル
TEL：045-325-5611
URL：
<https://www.metawater.co.jp/>



積水ハウスのグローバルビジョン 「わが家」を世界一幸せな場所にする



代表取締役 社長執行役員兼CEO
仲井 嘉浩

環境は未来からの借り物であり、未来の子どもたちのための住まいづくりという思想のもと、現在は戸建住宅だけでなく、賃貸住宅や分譲マンション、賃貸オフィスなどの非住宅の建物においてもゼロエネ化に注力しており、他社に先駆け先進的な取り組みを推進し、今後も住宅業界を牽引する考えです。いずれも快適性・経済性・環境性能のバランスを高め、住まい手メリットを訴求し、お客様の共感を得ながら推進しています。これらの取り組みにより、2050年カーボンニュートラルの実現を目指します。



生態系に配慮した造園緑化事業「5本の樹」計画

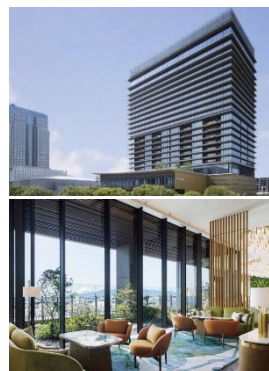
全国で年間100万本に及ぶ樹木を植栽している日本最大規模の造園業者でもある当社は、多くの住宅を供給するハウスメーカーの責任として、住宅を通じた生物多様性保全に向け、2001年から生態系に配慮した造園緑化事業「5本の樹」計画を進めています。「5本の樹」計画とは、「3本は鳥のために、2本は蝶のために、地域の在来品種を」との想いを込め、地域の在来種の中でも、特に鳥や蝶との関係が深く、庭木として利用可能な植物を「5本の樹」と定めて、庭木の提案を行うものです。理念にご賛同いただいた多くのお客様のご協力のもと、2001年の事業開始からの累計植栽本数は1810万本となりました。



「5本の樹」計画



Net-zeroデザイン
方法論



みなとみらいに新世代のウェルネスホテルオープン

当社は2022年6月みなとみらいに「ウェスティンホテル横浜」を開業しました。横浜でウェルビーイングの中心地となり、ゲストがベストな状態であることができる業界最先端のウェルネス体験をお届けする施設です。このホテルの大きな特徴は、SDGsを意識したホテル運営です。ペットボトルを最大限に排除、世界で最もサステイナブルなノルダック・プレミアムウォーターを館内でリサイクルボトルに瓶詰めし、提供いたします。消費エネルギーを極力抑えるべく、全ての客室の温度を検知し、使用電力を必要最低レベルに管理する最新型のセンサーを導入するなど、ホテルのゲストのみならず地球環境の「ウェルビーイング」を心掛けたホテル運営を目指しております。



地域に資する社会貢献活動「積水ハウスマッチングプログラム」

当社グループでは、従業員と会社の共同寄付制度「積水ハウスマッチングプログラム」を2006年度から実施しています。社会的活動を担うNPOなどの団体への支援を通じて社会課題を解決するもので、加入する従業員は約7,800人、これまでに延べ496団体に5億円を超える助成を実施しています。



横浜こどもホスピスプロジェクト



教育機関と連携した出張授業「Dr.フォレストからの手紙」

住まいづくりで培った造園緑化事業から得た知見や経験を活かして、児童・生徒向けの自然体験型教育プログラムを開発し、小・中学校への出張授業に取り組んでいます。子どもたちが校庭などにある樹木や様々ないきものと触れ合うことを通じて、食物連鎖を始めとする自然の営みが地球環境全体とつながっていることを理解していくプログラムです。



今後チャレンジしていきたいこと

横浜市における生物多様性保全の推進の実施
住宅展示場でのSDGs学習プログラムの実施





企業理念

培ってきた技術と経験を活かし、価値ある建造物とサービスを提供することで、安心して暮らせる持続可能な社会・環境づくりに貢献する

当社グループは、社会の変化に的確に対応し、持続的に成長するために、2018年5月に「新しい価値をつくる総合力企業へ」をビジョンにかかげた「西松-Vision2027」を策定し、建設事業の進化とともに、開発・不動産事業および新規事業の成長による事業領域の拡大を図っております。2021年4月には、新規事業領域を環境・エネルギー分野に絞り込み、脱炭素社会実現への取り組みを本格化しています。

当社の企業理念には、「安心して暮らせる持続可能な社会・環境づくりに貢献する」という一文があります。これはSDGsに代表されるサステナビリティの考え方そのものであり、私たちはこの理念に従い、社会の一員として必要なサービスを提供していきます。今後は、お客様をはじめとするすべてのステークホルダーの皆様とともに、持続可能な社会・環境づくりのために新たな価値を提供していきたいと考えています。



こんなSDGsに取り組んでいます！

産学連携による脱炭素に向けた取組み



当社は、北九州市立大学高巢・陶山研究室、九州工業大学合田研究室、日本アイリック株式会社および株式会社クレハと共同で、産業廃棄物を活用したセメントフリーなジオポリマーコンクリート二次製品の製造を可能にしました。

産業廃棄物を積極的に使用することにより資源循環を促進できるとともに、従来のコンクリート製品よりCO2排出量を50%削減できるため、建設材料分野における気候変動抑制に貢献できます。



自然の生態系に影響を与えない取組み



当社は、自然環境に配慮した数々の取組みを行っています。その取組みの一環として、独自のガイドブック「みんなを守る生物多様性できることBOOK」を作成し、当社社員だけでなく、協力会社の社員の意識向上を図り、全現場で生物保全活動に取り組んでいます。

浜松市で希少とされるアズマヒキガエルが、調整池の下流に設置したビオトープを産卵池としている
於：浜松市新清掃工場 造成及ぶアプローチ道路工事



横浜地域における取組み



横浜地域における文化・芸術・スポーツ活動の推進に向け、国内男子プロバスケットボールリーグ（B.LEAGUE）の「横浜エクセレンス」とオフィシャルパートナーシップ契約を結び、オフィシャルトップパートナー企業として同チームが行っている地域に根ざした活動を共に推進しています。

今後チャレンジしていきたいこと

施工現場やオフィスでの再生可能エネルギーの導入を進めていきます。

西松建設株式会社横浜営業所
住所：横浜市西区北幸2-8-19
横浜西口Kビル

TEL：045-314-0811

URL：

<https://www.nishimatsu.co.jp/csr/n-vision/esg.html>





次世代型省CO₂コージェネレーションプラント（安藤ハザマ技術研究所・茨城県つくば市）

私たち安藤ハザマグループは イノベーションの加速で新たな価値を創造します。

私たちは2030年を見据えた「安藤ハザマVISION2030」を掲げ、「イノベーションの加速で新たな価値を創造」を基本方針に、事業活動を通じて生み出すべき「お客様価値の創造」、「株主価値の創造」、「環境価値の創造」、および「従業員価値の創造」の4つの価値創造により、全てのステークホルダーにおける企業価値の向上を目指して、グループ丸となって取り組んでいます。

そして、人と技術の融合によって生まれる新たな価値や技術をもとに、サステナブルな社会の実現に向けた課題の解決に貢献するとともに、安全・品質・コンプライアンスの徹底により信頼関係を構築し、人と社会と地球に優しい未来づくりを目指します。



株式会社安藤・間
代表取締役社長
福富 正人

こんなSDGsに取り組んでいます！



ダイバーシティ&インクルージョン推進



女性の活躍をはじめとするダイバーシティ&インクルージョンを推進しており、2022年3月に「女性フォーラム」をオンライン開催しました。女性社員のさらなるモチベーションアップを図るとともに、誰もが活躍できるための風土改革・風土醸成を継続していくことが目的です。女性が社会で活躍するためには、男性の家庭での活躍や職場環境づくりが必要であり、上司が職場の働き方改革を主導し、部下の活躍を支援することが重要であることなどについて説明があり、企業の風土改革や社員の意識改革の必要性を教宣しました。



事業活動で利用する電力を100%再生可能エネルギーで調達

2021年度のグループの事業活動で使用した電力を、すべて再生可能エネルギー由来の電力（再エネ電力）で調達しました（ゼネコン初・当社調べ）。再エネ電力は、各拠点に導入した太陽光発電設備による発電に加え、小売電気事業者が提供する再エネ電力、および非化石証書購入の組み合わせにより調達しました。この取り組みは、当社の環境関連の目標達成に向けた取り組みの一環であるとともに、お客様のサプライチェーン排出量の削減にも寄与します。



仮囲いを利用し可能性アートの展示



当社他で施工中の横浜市営地下鉄ブルーライン上大岡駅（港南区）の改良工事の仮囲いに障がい者アーティストの作品を展示しています。これは凸版印刷株式会社とNPO法人サポートセンターどりむ、一般社団法人障がい者アート協会が共同で取り組んでいる「可能性アートプロジェクト」に賛同し、多くの人が目にする建設現場の仮囲いをアーティストの作品を公開する場として活用する取り組みです。今後もこの取り組みを継続して、障がいがあるアーティストが、生きがいを感じながら創作活動を続けられる社会構築に貢献していきます。

今後チャレンジしていきたいこと

当社では、水素社会の到来を見据えた広域的省CO₂プロジェクト、「安藤ハザマ 次世代エネルギープロジェクト」について、技術研究所で実証試験を進めています。水素も利用可能なプラントを所内に設置し、省CO₂エネルギーを広域に届ける統合エネルギーマネジメントシステムを構築しています。本プロジェクトをはじめ、環境技術・ソリューションの開発を推進し、脱炭素・循環型社会の実現を目指します。

株式会社安藤・間
住所：東京都港区
東新橋1-9-1
TEL：03-3575-6094
URL：
<https://www.ad-hzm.co.jp/>



『太陽の恵み、人にやさしく地球にやさしく』 事業を通じ、社会・環境の持続可能な発展に貢献します！

「心豊かで健康的な暮らしと社会・自然の持続可能な発展に貢献する」ことを使命として、1919年の創業以来、環境と向き合うことを常に意識してきました。

第1回認証で上位（Superior）のご評価頂いたことから当社における課題が見え、最上位（Supreme）へと目指した取組みが、今回光栄にもランクアップを達成する事が出来ました。

「パイロボイラー」導入に向けた取組み、2030年までに使用電力の100%を再生可能エネルギーに切り替え、ゼロカーボンを目指すとともに、女性の活躍推進や大きな環境変化の中で経済的困窮を抱える方への支援にも更に注力してまいります。昨今サステナブル、環境に対する意識が小学生を含む学生の中で変わってきたと感じ、子ども達が親をサステナブルに誘導するようになってきています。ますます環境配慮型企業として社会貢献すべきと考えています。



太陽油脂株式会社
代表取締役社長
中山 悟

こんなSDGsに取り組んでいます！



自然由来成分・環境にやさしい
石けん、スキンケア製品



自然由来成分*を使用することにより、
石けんやスキンケア製品作りを行っています。



持続可能なパーム油の調達

生産量世界一の植物油であるパーム油の抱える問題へ取り組むために、RSPOのパーム油を製品へ積極的に展開しています。



サステナブルスクール
石けん教室



「一つの石けんから地球環境を考える」と題し、身近な存在である石けんを通じて環境・社会問題についての講義を行っています。



はまっ子未来カンパニーPI
～黒船石けん～

瀬ヶ崎小学校の児童たちと地元の企業・団体が協働し、オリジナル石けんを開発



地球温暖化対策、省エネ活動

脱臭設備の省エネタイプに更新でCO2削減

2030年までに使用電力の100%を再生可能エネルギーに切り替えます



「女性と地球にスマイルを」

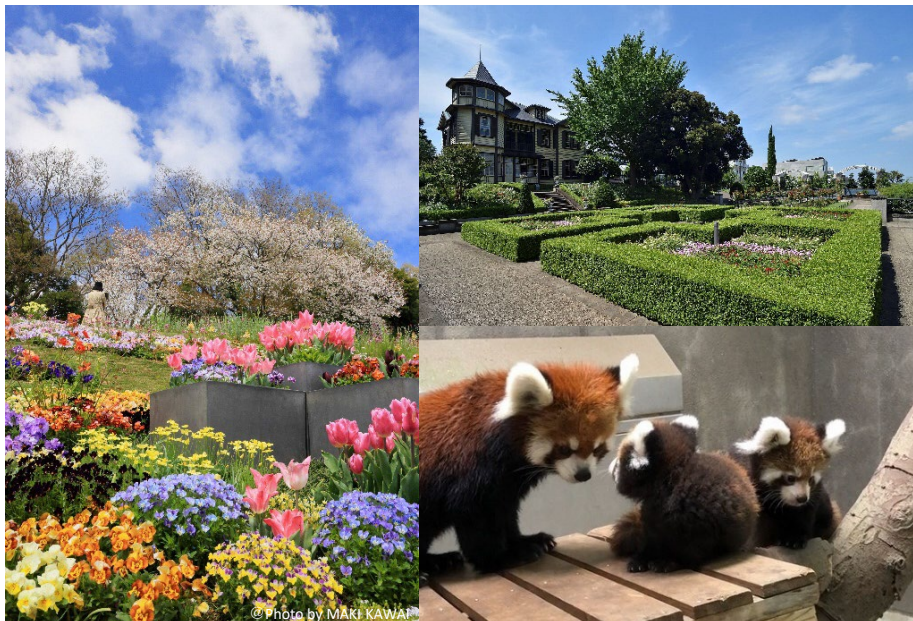
コスメバンクプロジェクト※の
アドバイザーボードに参加

※化粧品の余剰品を経済的困難下にある女性に無償でお届けする



太陽油脂株式会社
住所：横浜市神奈川区
守屋町2-7
TEL：045-441-4951
URL：http://taiyo-yushi.co.jp/





横浜市の緑化推進や公園・動物園の管理運営を通じて、豊かな市民生活の実現や生物多様性の保全に貢献します

公益財団法人横浜市緑の協会は、都市緑化の推進、公園緑地・動物園等の円滑な運営などによる公共の福祉の増進を図ることを目的に、公益目的事業を中心に様々な事業に取り組んでいます。

当協会が担う緑化推進、公園、動物園事業は、良好な都市環境の形成をはじめ身近な市民生活向上に関わるものから、自然環境、生物多様性の保全など国際的な課題解決につながるものまで多岐にわたっており、その役割を果たすことがSDGs達成にも貢献できると考えます。

今後も当協会は、SDGsの達成に向け、横浜市や市民・企業・団体の皆様など多様な主体と連携して、これらの事業を一層推進してまいります。



(公財) 横浜市緑の協会
理事長 福山 一男



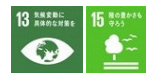
横浜市緑の協会は、自然環境に関わる様々な事業を行っています。中でも動物園は、レクリエーションの場としてだけでなく、生物多様性や地球環境保全の場としての役割も担っています。

SDGsの目標の中では、主に15番目の「陸の豊かさを守ろう」に貢献していますが、それ以外の全ての目標にも関わっているのも当然。つまり、これからの社会を変えてゆくヒーローになることが最終ゴールです！



よこはま動物園ズーラシア
園長 村田浩一

こんなSDGsに取り組んでいます！



花と緑の魅力と賑わいの創出



市内に約800団体ある「よこはま緑の推進団体」への支援や地域の緑化活動を担う「よこはま花と緑の推進リーダー」の育成を通じて、市域の都市緑化推進に貢献しています。また、横浜市と連携した「里山ガーデンフェスタ」「よこはま花と緑の春フェア」などの普及啓発イベントの開催に加え、管理している公園などで四季折々の花と緑にふれあえる機会を提供しています。



動物園における種の保存

絶滅の危機に瀕した生き物や、生息地ではない安全な施設で保護して、それらを増やすことにより絶滅を回避する「生息域外保全」を推進するため、国内外の動物園、関係機関など様々な主体と連携し、野生動物の飼育繁殖・調査研究に取り組んでいます。



今後チャレンジしていきたいこと

よこはま動物園では、令和3年に世界で初めて成功させたツシマヤマネコの人工授精に継続的に取り組みつつ、これまでに培った技術をウンピョウ等のネコ科動物やその他の絶滅危惧種に対しても活用しています。今後も繁殖・保全に向けた取組を通じて野生生物をはじめとした豊かな環境づくりにつなげていきます。



歴史的建造物の活用による魅力・賑わいの創出



横浜山手西洋館の「花と器のハーモニー」をはじめ、歴史的建造物の保存と活用を両立させながら、華道家、演奏家、その他のアーティストと連携して、様々な文化芸術イベントを開催しています。

公益財団法人横浜市緑の協会
住所：横浜市中区日本大通58番地
TEL：045-228-9420
URL：https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/





経営理念【Best Smiles for You】の実現 “人と環境にやさしいホテル”を目指す

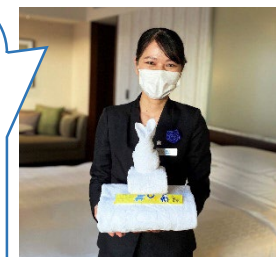
SDGsの考え方「誰一人取り残さない」と、横浜ベイシェラトンの経営理念「Best Smiles for You」には共通の考え方があります。私たちはSDGsに取り組むことで**最高の笑顔で全ての人を笑顔にする**という経営理念の実現につながると考えております。

また、横浜駅西口を拠点に、地域の皆さまに愛されるホテルとして、**地域社会に積極的に貢献**してまいります。SDGsへの取り組みの重要性を商品・サービスを通して発信し、**お客様とともに**よりよい社会の創造を目指します。



横浜ベイシェラトン ホテル& Towers
総支配人
石原 哲也

私たちは、プラスチックフリーを推進し、客室のバスアメニティ(シャンプー、コンディショナー、ボディウォッシュ)をディスペンサータイプをご用意しております。また歯ブラシやヘアブラシなどは、食用外の古米や工業米、コーンスターチなどの生物由来資源(バイオマス)を使いプラスチックの使用量を抑えた、環境にやさしいエコアメニティを導入しております。



宿泊部
グエン ゴック ニャット ミンさん

こんなSDGsに取り組んでいます！



自立循環型食品リサイクルループ「ヤサイクル」

2008年に食品ロス削減に取り組むために導入しました。ホテルから出る生ごみを専用の機械で肥料化し、それらを契約農家へ提供、その農園で栽培・収穫された食材をホテルで使用しています。



オールデイブッフェ「コンパス」神奈川朝食

神奈川県内や横浜市内の生産者から仕入れた食材を使用した朝食をご用意しております。地産地消を推進し、食を通して地元神奈川の魅力を伝え、愛着を持っていただくことを目指しています。



再生可能エネルギーを活用した「はまっこ電気」導入

横浜ベイシェラトンホテルで使用する電気の一部に、横浜市の焼却工場におけるバイオマス発電や、市内の家庭における太陽光発電に由来する再生可能エネルギーを活用した「はまっこ電気」を導入しています。

今後チャレンジしていきたいこと

ホテル商品である食の提供を通じて、廃棄物削減(特に食品とプラスチック)、地産地消の推進、さらには食育の場を創造するなど、環境保全への取り組みに更なるチャレンジをしてまいります。

横浜ベイシェラトン ホテル& Towers
住所: 横浜市西区北幸1-3-23
TEL: 045-411-1111
URL: <https://yokohama-bay-sheraton.jp/>





ZEB化改修した技術研究所管理棟(自社ビル)

～さらに高く さらに広く
人と自然を大切に、未来づくりに貢献する
ヒューマン・コンストラクターへ～

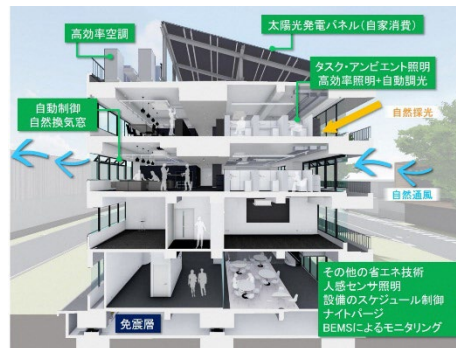
奥村組グループは「よりよい環境を創造するとともに、環境保全・再生に積極的に取り組む」を企業行動規範に掲げ、建設会社の枠を超えた総合インフラストラクチャー企業を目指し、地球規模の環境保全、SDGs達成に貢献してまいります。

奥村組グループのシンボルマークは「人」を象徴したものです。これは“人と自然を大切に、未来づくりに貢献するヒューマン・コンストラクター”を目指すという、私たちのことを表現しています。これまでよりもさらに高い視座と広い視野をもち、より多くの人とともに明るい未来を築くため、私たちは一步一步、確実に前進していきます。



株式会社奥村組
代表取締役社長
奥村 太加典

こんなSDGsに取り組んでいます！



建築物のZEB化

省エネ・創エネに関する技術開発への取り組みとして、自社ビルである技術研究所管理棟をZEB化改修しました。当社はZEBプランナー、ZEBリーディング・オーナーとして認定登録されており、同ビルの設計や運用で得られた知見を活かして脱炭素社会の実現を目指します。



再生可能エネルギー事業

化石燃料を除く生物由来の有機性エネルギー資源（木質資源や農作物残渣等）を燃料とした**バイオマス発電事業**に取り組んでいます。天候等の自然環境に左右されない再生可能エネルギーであり、**安定的な電力供給**が可能です。

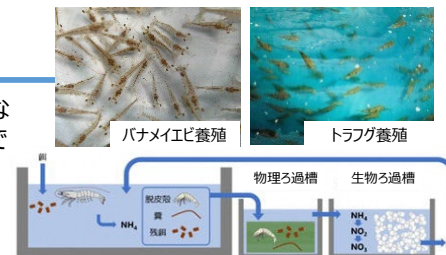


「夏秋いちご」栽培・出荷・販売事業

地方都市における耕作放棄地の解消や、低迷する食料自給率の向上に貢献すべく、**夏秋いちご事業**に取り組んでいます。農業分野の課題解決のみならず、地域独自ブランドの確立や、新たな雇用の創出による**地方創生**にも貢献しています。

閉鎖循環式陸上養殖

気候変動や海洋汚染などに左右されず、安心・安全な水産業として注目されている**陸上養殖事業**に取り組んでいます。微生物の力を用いた浄化システムを利用し、環境負荷が少ない閉鎖循環式の陸上養殖は、建設事業の「**水浄化技術**」への応用にも期待できます。



今後チャレンジしていきたいこと

- ・建築物のZEB化推進、再生可能エネルギー事業を通じて、CO₂排出量削減に貢献し、**脱炭素社会の実現**を目指します。
- ・バイオマス発電事業での木質資源・農作物残渣の有効利用、陸上養殖事業などを通じて、**循環型社会の実現**を目指します。

株式会社奥村組 横浜支店
住所：横浜市中区日本大通60番地
TEL：045-662-1361
URL：<https://www.okumuragumi.co.jp/>





横浜ロープウェイ海上支柱基礎工事

長期ビジョンTOA2030

社会を支え、人と世界をつなぎ、未来を創る

東亜建設工業は1908年の創業以来、社会資本の整備を事業の根幹とし、創業者である浅野総一郎の信念「社会を益する」をかたちにすることを使命としてきました。そして今、急激な変化を遂げる世界と時代を見据え、社会的責任をこれまで以上に果たす事を目標に長期ビジョン「TOA2030」を策定し、産業基盤の構築、持続可能な社会の実現、多様な人財の育成を目指してまいります。2022年9月には当社が定めた温室効果ガス削減目標がSBT認定を取得しました。これからも「社会を支え、人と世界をつなぎ、未来を創る」を旗印にE（環境）、S（社会）、G（ガバナンス）を念頭に置いた事業活動によりSDGsに貢献します。



東亜建設工業(株)横浜支店
執行役員常務支店長
馬越 成之

(横浜ブルーカーボン・オフセット証明書を拝戴)

こんなSDGsに取り組んでいます！



女性が働きやすい職場へ



当社は、より一層女性が活躍できる職場づくりを推進し、2021年に「えるぼし認定企業（2段階目）」の認定を受けました。職場づくりの一環として、女性社員の配置が少ない現場を中心に、女性が利用できる制度や、配属に際しての設備導入などについてまとめたサポートブックの配布を行っています。また、TOAけんせつ小町ワーキンググループという女性社員同士の交流・意見集約の場を設けています。



絵本「のりができるまで」を横浜市に寄贈

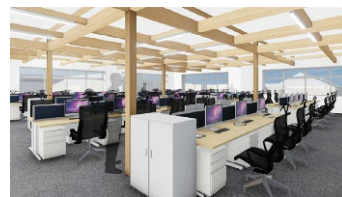
「海洋都市横浜」として様々な取り組みが進められている横浜の小学生に、海に関係する仕事について関心を高めてもらいたい趣旨のもと、2022年3月に絵本「のりができるまで」を、横浜市へ全市立小学校分として340冊寄贈しました。同書は「すがたをかえるたべものやしんえほん」シリーズで、横浜市漁業協同組合金沢支所の協力により海苔の養殖について小学生向けに解説した本です。これからも様々な形で安心して活力があふれるまちづくりに携わっていきます。



本業を通じて環境／カーボンニュートラルに貢献



- ・横浜ロープウェイ海上支柱基礎工事では、騒音に配慮した施工を実施しました。
- ・技術研究開発センターで整備中の実験棟（鶴見区、2023年3月竣工予定）は、太陽光発電と省エネ設計によるZEB化、および一部に木質構造を採用しています（写真左）。
- ・ブルーカーボン生態系の拡大に向けて直立の護岸等の港湾構造物への海藻着生に関する技術検討を進め、南本牧ふ頭において実海域実験を実施しています（写真中）。
- ・当社保有の地盤改良船を環境配慮型へ更新して新本牧ふ頭整備工事で活用し、横浜ブルーカーボン・オフセットのプロジェクト登録により、クレジット売却を実施しました（写真右）。



今後チャレンジしていきたいこと

横浜港カーボンニュートラルポートに貢献できるよう、新技術を開発していきます。

東亜建設工業株式会社横浜支店

住所：横浜市中区太田町1-15
TEL：045-664-1331

URL：<https://www.toa-const.co.jp/>

人をつくる 街を造る 横浜を創る



「まごころをこめて行動し、 横浜のまちづくりとひとづくりに貢献する。」

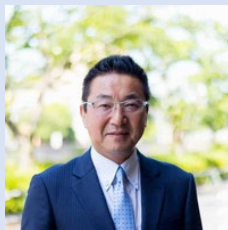
弊社は1966年の創業以来、地元横浜を拠点に事業展開してきた地域密着型総合建設会社です。公共工事を中心とした土木工事、建築工事、港湾工事などを請け負い、半世紀以上にわたり横浜の街づくりに携わってまいりました。

長年培ってきた知識と経験、技術力を活かすべく、お客様の満足度向上のために1999年品質マネジメントシステムISO9001を、建設業界が環境へ与える影響の大きさを鑑みて2000年に環境マネジメントシステムISO14001をそれぞれ認証取得しております。

また、積極的なSDGs活動だけでなく、CSR活動や健康経営にも積極的に取り組み、横浜市よりY-SDGs認証事業者「最上位」Supreme認証とあわせ、横浜型地域貢献企業「最上位」認定、横浜健康経営認証2022「クラスAAA」認証、よこはまグッドバランス企業認定もいただいております。

これからも皆様から信頼され、より多くの人のお役に立てる建設会社を目指し、社会に貢献できる人財の育成のためにも働きやすい職場環境の整備、従業員の健康保持・増進にも努めてまいります。

今後も事業活動を通じて地域に貢献し、今まで支えてきていただいた地域の方々との交流活動にも力を入れ、パートナーシップによる目標の達成を目指して参ります。



株式会社センチュリー工業
代表取締役 岡本 三平

こんなSDGsに取り組んでいます！



男女ともに働きやすい職場環境の整備



- ・本社事業所において、女性更衣室女性用トイレエリア入口に男性が誤って入室しないように“女性専用”と明記し、現場事務所においても女性専用トイレの設置を進めています。
- ・子の看護休暇・介護休暇制度について、法定を上回る制度（有給休暇）としています。
- ・資格取得支援をはじめ、社内外のキャリアアップ研修やセミナーへの参加を促進しています。（費用は全額会社負担）



外国人技術者の採用

- ・少子高齢化で深刻となっている技術者不足を受け、外国人技術者（施工管理職）の採用活動を行い、ベトナム建設大学（通称ハノイ大学）卒業生の採用に結び付けることができました。また、日本での生活もサポートしています。



ハラスメントやメンタルヘルス対策、法律相談などの窓口を設置



- ・社員からの様々なハラスメントやメンタルヘルスなどの相談に対して社内相談窓口を設けて対応しており、社会保険労務士や顧問弁護士による相談体制もあわせて整備しています。



気候変動対策としての 脱炭素に向けた取組みや天然資源への配慮



- ・本社事業所の男性用トイレの小便器において使用頻度と使用時間、小用量にあわせて洗浄水を自動調整する節水型フラッシュバルブを設置しました。
- ・本社事業所の事務所、会議室、倉庫などで使用しているすべての照明器具についてLED化を実施しました。
- ・現場における夜間照明に太陽光パネルによる蓄電タイプを使用しています。
- ・アスファルト切断時に切断水不要の乾式カッター工法を採用することで、水の使用を抑えて濁水の発生も抑制しています。
- ・現場に掲示する安全掲示板や現場事務所に設置する女性用トイレの目隠しフェンスに間伐材を使用したモデルを採用することで、二酸化炭素の削減に貢献しています。
- ・月に1回の会社周辺及び西横浜駅周辺清掃活動や、港湾工事を施工する建設会社として海洋汚染防止対策（社員有志による船上からの海洋清掃活動）を実施しています。



◆現在チャレンジしていること

資材置き場としていた弊社所有の荒れた農地を、社員総出で砂利の除去から整地を行い、地元農家に指導協力を得てゼロから農業を始めました。

現在では「採れたて野菜販売会」として毎月1回、本社ビルにて収穫した野菜の販売を行なえるまでになり、近隣の皆様に大変好評を得ています。

今後は栽培する野菜の種類を増やし、販売会も月2回行うなど力を入れて、建設業に次ぐ事業にすべく挑戦し続けてまいります。

また、今後弊社を退職したシニア人材の雇用先としても検討しています。

株式会社センチュリー工業
住所：横浜市西区西平沼町8番13号
TEL：045-312-0800
URL：https://centurykogyo.com





エネルギー消費量の削減率によって4段階に種別される最上位「ZEH-M」を達成



屋上に設置した太陽光パネル



コネクテッドEVシステム



各階へ自然光を届ける光ダクト



揺動制震システム

～ 脱炭素社会の実現に向けた環境配慮設計の取り組み ～

省エネ・創エネによる環境配慮設計の取り組みにより、年間の一次消費エネルギー収支ゼロ『ZEH-M（ゼッチ・マンション Net Zero Energy House Mansion）』を実現した当社の社員寮（鉄骨造3階建・31戸・延床面積1,266m²）が完成しました。当物件は、太陽光発電の効率的な蓄熱設備（エコキュート）と蓄電設備（リチウムイオン電池）により、再生可能エネルギーの自家消費率100%を実現しています。また、「揺動制震システム」を4基設置するとともに、停電時に建物と電気自動車（EV）を接続し、EVの直流電源を交流電源に変換して建物の電源を維持するシステムを完備するなど、大規模地震時の防災拠点としても機能します。今後は当物件をモデルケースとして環境配慮設計の展開と技術提案を積極的に行い脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

当社はサステナブルな社会の実現に向け、社会の要請に技術とサービスで応え続けます



当社は2021年12月に策定した「サステナビリティ基本方針」に基づき、事業活動に伴うCO2排出量削減目標を定め、Scope1とScope2については、2030年までに「実質カーボンニュートラル」を目指しています。また優先的に取り組む重要課題（マテリアリティ）として、①持続可能な社会の実現、②安全で快適な社会の実現、③魅力ある職場環境の実現と人材の確保・育成、④経営基盤の強化、を特定しています。

サステナビリティに関する社会的な要請に応え続けることは、当社グループにとっての

社会的使命である一方、新たな事業機会でもあります。社会の動きやニーズをしっかりと見極め、自ら率先して社会に価値を提供できるよう事業活動を推進してまいります。当社グループの価値創造の源泉は「人」であり、社員の幸福度の向上が、企業の成長への第一歩であると考えています。そのためにはダイバーシティ&インクルージョン（D&I）の早期実現が不可欠であると考え、2022年4月にD&I推進部を新設しました。D&Iの実現を通じて、全ての社員が等しく「成長」や「活躍」の機会が得られ、多様な人材が個性を発揮し活躍できる職場環境の構築を推進してまいります。



近藤 重敏
代表取締役社長

当社は、2014年「ダイバーシティ推進委員会」を設立し、2022年4月には「D&I推進委員会」へ改組し、女性、外国人、シニア、障がい者などの積極的な登用を図るとともに、多様な人材が活躍できる企業風土づくりに取り組んでいます。女性が積極的にこの業界に進出できるよう、これまでの建設業界のイメージを払拭し、労働環境の整備に積極的に取り組んでいます。

総合職になって仕事の幅が広がりました！



こんなSDGsに取り組んでいます！



「けんせつ小町」とは建設業で働くすべての女性の愛称です。当社では「けんせつ小町」が、働きやすく、イキイキと働き続けたいと思われる職場環境の実現を支援しています。写真は横浜支店設計・施工の海老名駅間マンションの現場で2019年8月に開催された

「けんせつ小町活躍現場見学会」の様子です。見学会には女子小学生や保護者の方達が21名参加しました。



湘南海岸ビーチクリーン活動



横浜支店は2007年度から、毎年欠かさず「横浜市の水源林である山梨県道志村の森林整備」や「神奈川県の高麗な道づくり活動における清掃活動」などの環境ボランティア活動に参加してきました。2019年度からは、「かながわプラごみゼロ宣言」の賛同企業として、毎年、湘南海岸における「ビーチクリーン（海岸清掃ボランティア）活動」に参加しています。



今後チャレンジしていきたいこと

当社では、これまでに利用されることのなかった、ダム湖や湖、貯水池、遊水池、養魚場の跡地、農業用ため池などの水上に「水上太陽光発電用フロートシステム PuKaTT（プカット）」を開発し、現在、国内7件、海外5件の採用実績があります。このシステムの利点としては、造成工事による環境破壊がないこと、利用されていない水上スペースの有効活用、水面の冷却効果により高効率の発電が可能、水の蒸発や藻の発生防止、草刈りなどのメンテナンスが不要、災害時に活用可能など、多くの利点があり、最近自治体から多くの問い合わせをいただいております。今後は、小水力発電事業への参入や、再生可能エネルギーなど様々な環境技術をお客様に提案し実現に向けてチャレンジしていきたいと思っております。



湖に設置した太陽光パネル



工業用水池に設置した太陽光パネル

三井住友建設 株式会社 横浜支店
住所：横浜市神奈川区栄町5番地 1
TEL：045-393-1800
URL：<https://www.smcon.co.jp/>



横浜スタジアム（増築・改修） 2020年竣工
横浜スポーツタウン構想の中心に位置づけられる、横浜スタジアムのリニューアル工事の設計・施工に関わり、スポーツを核とした地域のにぎわい創出に貢献

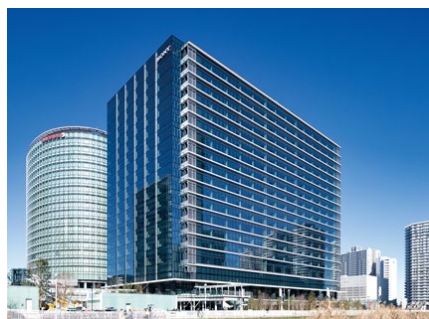
「論語と算盤」を体現する企業文化を育み、社会・お客様の本質的なニーズを探求し、社会課題の解決に貢献するソリューションを提案・提供できるよう、企業変革への挑戦を続けていきます。

コロナ禍を受け、世界は脱炭素化やデジタル化をめぐる議論や取り組みを加速させ、ニューノーマルな働き方を生み、時代の転換期に入りました。そのような中、当社グループが長期ビジョン「SHIMZ VISION 2030」で掲げたレジリエント、インクルーシブ、サステナブルの三つの社会の実現を目指し、新しい価値をお客様と社会にお届けするという使命は、ますますその重要性が増し、意義深いものになると考えています。社である「論語と算盤」を体現する企業文化を着実に育みながら、社会課題の解決を希求されるお客様の本質的なニーズを探求し、様々なソリューションの提案・提供を通じて社会に貢献できるよう、組織や事業の枠を超えた変革と挑戦を続けていきます。



清水建設株式会社
代表取締役社長
井上和幸

横浜ではこんなSDGsに取り組んでいます！



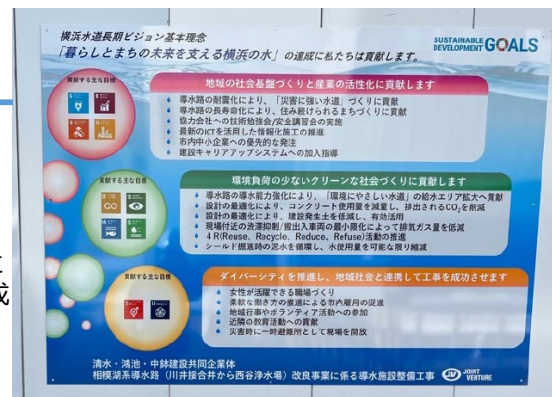
WELL認証取得「横浜グランゲート」



自社開発により2020年に竣工した横浜・みなとみらい地区の大規模賃貸オフィスビル「横浜グランゲート」は、「Core & Shell」区分においてゴールドランク認証を取得しています。同区分での認証取得は国内初となります。

作業所仮囲いにSDGs看板設置

横浜市水道局を発注者とする「相模湖系導水路（川井接合井から西谷浄水場）改良事業に係る導水施設整備工事」では、現場独自でSDGs目標を設定し、仮囲い・防音壁の目立つ位置に看板として掲げること、周辺住民の皆様に対し、目標とその達成に向けた取組み内容を紹介しています。



女性が活躍できる職場づくり

横浜市内の工事現場では、女性専用のトイレや安全防護具を用意することで、女性の従業員が活き活きと働き、活躍することができる職場環境になっています。

今後チャレンジしていきたいこと

当社は1859年に創業者である初代清水喜助が開港場横浜に進出して以来、ホテルニューグランド、横浜ランドマークタワー、大さん橋国際客船ターミナルなど、人々の記憶に残る建物の建築を手掛けてきました。今後も引き続き、横浜の地において、安心・安全な建物・インフラ構築物、環境にやさしい建物などを手掛けて、横浜市の持続可能な未来の実現に向けて貢献していきます。

清水建設株式会社

本社住所：東京都中央区

京橋二丁目16-1

TEL：03-3561-1111

URL：https://www.shimz.co.jp/

未来へ、“安全と安心”を届けたい



Support the future with technology.

ここにしかない技術で未来を支える。

不動テトラでは、かねてより「本業を通じた社会貢献」を志し、2015年には経営理念として当社の使命を「豊かで安全・安心な国土づくりに貢献」として明確に位置付けました。「豊か」とは、道路や鉄道、港湾などのさまざまな社会基盤の整備を指します。「安全・安心」とは、地震や台風などの自然災害に対する防災・減災を意味しており、土木・地盤改良・ブロック3つの事業が協調しながら、持続可能な社会環境を総合的に実現していくという意味を表しています。

一方、世界の潮流として、SDGsに代表されるように、気候変動対策や人権の尊重など、持続可能な社会実現に向けた社会課題への対応は、国家やソーシャルセクターだけではなく、民間企業や個人に対しても、その責任を求められています。不動テトラは、これらを推進する取組みを支持し、建設業に携わる企業として、インフラの構築、防災、環境、エネルギー、まちづくりなどを通して、目標の達成に貢献していきます。



株式会社不動テトラ
代表取締役社長 奥田 眞也

「ESG経営」を掲げSDGsへ貢献します

企業が事業活動を行う上で、非財務的な側面も重視することが経営基盤の強化に欠かせなくなっています。本業を通じて自社とステークホルダーにとって重要と考えられる課題に取り組むことで社会に貢献する企業を目指しています。

E 環境	1	【気候】～持続可能な社会の実現～ 気候変動の緩和と適応 循環型社会の実現 自然共生社会の実現	7 12 13 15 16 17	①環境配慮設計・建築・施工の推進 ②環境配慮型技術利活用商品の開発・販売の促進 ③環境配慮商品の開発・販売 ④環境結果の公表
	2	【資源循環】～安全・安心な国土づくり～ 持続可能な強靱な国土と質の高いインフラ整備への貢献 イノベーションの推進	9 11 13 15 17	①社会的課題の解決（防災・復興） ・防災・復興への貢献 ・インフラの再生と未来社会への貢献 ②資源の効率的な活用による「資源効率の向上」 ・持続可能な資源の活用・取組の促進 ③環境負荷低減による事業の生産性向上
S 社会	3	【国土・インフラの整備・創出】 地域の発展・活性化への貢献	9 11 13 15 17	①社会貢献の推進 ②地方自治体の健全な事業 ・社会貢献活動を通じた地域活性化 ③働きやすい職場環境の推進 ④人材の育成および確保 ⑤労働安全衛生の推進 ⑥労働者の福利厚生・就業機会の向上
	4	【人権・労働慣行】 あらゆる人々の活躍の推進	8 10 16 17	①ダイバーシティの推進 ②コンプライアンスの推進 ③倫理的行動と公正な取引の推進 ④情報の適切な管理と透明性の確保
G ガバナンス	5	【企業統治】 企業経営の健全性と効率性の向上	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17	①コーポレートガバナンスの強化 ②リスクマネジメントの推進 ③コンプライアンスの推進
	6	【公正な事業慣行】 倫理的行動の推進	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17	①倫理的行動と公正な取引の推進 ②情報の適切な管理と透明性の確保

こんなSDGsに取り組んでいます！



“社会貢献活動”を積極的に取り組んでいます

- ・教育活動⇒当社製品「テトラポッド」による体験学習の実施
- ・災害救助活動⇒防災に関する情報提供を継続的に実施
- ・スポーツ活動⇒FUN+WALK PROJECTへの参加等
- ・文化・芸術活動⇒交響楽団等への寄付等



“制度”のメリットを最大化します

- ・育児支援制度
- ・介護支援制度
- ・その他制度（ライフサポート休暇、不妊治療休暇・休業制度）



宮農型太陽光発電（ソーラーシェアリング）の運転を開始

福島県内の休耕地の活用により、再生可能エネルギーの普及、農業と発電の両立による地域社会における持続的事業とエネルギーの創出、地域活性化への貢献を目的としています。今回の3カ所の施設による発電量はおよそ300,000kwh/年です。

今後チャレンジしていきたいこと

- ・気候変動の緩和と適応、循環型社会の実現に向け、環境に配慮した技術商品の開発提案、設計提案の促進。
- ・自然共生社会の実現のため、沿岸生態系に資するブロック製品やグリーンインフラによる海岸保全などの研究開発の促進。

株式会社不動テトラ

住所：東京都中央区
日本橋小網町7-2
TEL：03-5644-8500
URL：

<https://www.fudotetra.co.jp/>





**70年の進化を、新しい時代をつくる力に。
人が輝くまちづくりで、未来価値を創造する。**

田園調布の開発を起源とする当社は、1953年の設立後、理想のまちづくりをめざして多彩な事業を展開してきました。その70年間の歩みは、まさに挑戦と進化の歴史であり、未来に向かって「変化する力」そのものが、時を経ても変わらない私たちのDNAといえます。こうした変化が可能だったのは、お客さまのニーズを的確に捉え、常に時代の半歩先をいく提案を追求してきたからにほかなりません。社会課題の解決という終わりのない挑戦の上に、既存の不動産業の枠組みにとどまらない「ライフスタイルを創造する企業」としての現在があります。

そして今、かつてない速さで社会が変化する時代のなかで、これから先も持続的な成長を遂げるべく、さまざまなプロジェクトを通じて「人が輝くまちづくり」を展開し、未来の新しい価値づくりに取り組んでいます。



東急不動産株式会社
代表取締役
星野 浩明さん

「地域」連携～商業施設におけるギャザリング活動～

人々のつどい・交流を示す「Gather」と、地域の方々に愛され、共に育ってきたいという想いの「Together」の2つの意味をこめたコンセプト「To・gather」を掲げ、地域コミュニティーの活性化および地域貢献につながる取組を実施しています。

ノースポート・モール（都筑区）

「ノースポート・モール」では、地下1階「のすぽぱーく」及び3階「のすぽひろば」を地域に開かれたコミュニティスペースとして、「子育て」「教育」「国際交流」をテーマとしたギャザリング活動を実施してきました。地域アーティストが講師となるワークショップや、「横浜ビー・コルセアーズ」との連携イベント等、地域の皆様の集い賑わいを創出するイベントを今後も開催していきます。



東急プラザ戸塚（戸塚区）

「東急プラザ戸塚」では、“戸塚と子どもの未来を考える”をテーマとしたSDGs啓発イベント「TOTSUKA MIRAI WEEK」を定期的で開催しています。開催期間中は、戸塚区役所や周辺企業様と連携したSDGsの啓発イベントの実施や、戸塚区のNPO法人「こまちプラス」様の「ウェルカムベビープロジェクト」とコラボしたワークショップ、SDGsや子育てに関する取り組みの店頭掲示をしています。



「環境」「社会」「ガバナンス」の取り組み一例

RE100における取り組み

当社は、国際イニシアチブ「RE100」の要件である電力の100%再生可能エネルギーへの切り替えを完了しています※。これにより、CO2の排出量を年間約15.6万トン削減することが可能です。※共同事業など一部を除く



復興支援の取り組み

2016年に発生した熊本地震は、阿蘇地方一円に大きな影響をもたらし、当社グループが経営する「阿蘇東急ゴルフクラブ」も甚大な被害を受けました。当社グループは地元の皆さまとともに復旧復興を続け、ゴルフ場を再開するだけでなく、阿蘇がさらに元気になることを願いながら、さまざまな復興支援の取り組みを継続しています。



情報セキュリティ

当社グループでは、業務上取り扱う情報に関して適切な管理を実施することを目的として、「情報管理基本規程」を定め、情報の共有化による業務の効率化、秘密漏えい防止、適切な情報開示に努めています。



当社のSDGs取り組みについて

当社は、財務のみならず、非財務を重要な経営課題と位置づけ、SDGsと密接に結びついた6つのテーマ（マテリアリティ）に取り組み、サステナブルな社会と成長を実現します。

※詳細は、右記サステナビリティサイトへ

東急不動産株式会社
東京都渋谷区道玄坂
1-21-1 渋谷ソラスタ
URL：
<https://www.tokyu-land.co.jp/sustainability/>